

中越大震災被災地域における融雪後の土砂災害危険箇所等の 再点検結果について

北陸地方整備局湯沢砂防事務所及び新潟県土木部砂防課では、今季は例年以上の豪雪となったことから、融雪等に関連して発生する崩壊等、融雪期の土砂災害の発生について警戒にあたるとともに、融雪後の土砂災害危険箇所の再点検や融雪等に関連して発生する崩壊調査を実施しました。

1 土砂災害危険箇所の再点検結果（新潟県）

震災直後に点検した箇所のうち特 A、A 及び B ランクと判定された箇所について融雪の影響を考慮し、再調査を実施しました。結果は下表のとおりですが、応急対策等の実施により特 A 及び A がランクダウンした箇所が 112 箇所、逆に融雪等により A にランクアップした箇所が 29 箇所となりました。

危険度ランク	震災直後調査	今回調査
特 A	6	0
A	168	91
B	424	435
C	227	299
計	825	825

特 A: 小規模な河道閉塞が生じているもの
A: 危険度大であり、直ちに緊急措置を必要とするもの

B: 危険度中であり、緊急性が低いもの

C: 危険度小であり、現時点では異常が認められないもの

該当する市町村は、旧長岡市、旧山古志村、旧越路町、小千谷市、旧十日町市、旧中里村、栃尾市、旧安塚町、旧堀之内町、旧小出町、旧広神村、旧守門村、旧入広瀬村、旧大和町、旧六日町、川口町

2 芋川流域における崩壊地の拡大状況の調査結果（湯沢砂防）

魚野川支川芋川の流域について、2005年5月11日、2004年10月24日の2時期に撮影した空中写真を比較し、この間に発生した崩壊地について、新規崩壊、拡大崩壊に区分して抽出しました。結果は以下の通りです（速報値）。

崩壊地箇所数		崩壊地面積	
2005年5月11日	1836箇所	2005年5月11日	1,648,000m ²
2004年10月24日	1419箇所	2004年10月24日	1,478,000m ²
増分（新規崩壊）	417箇所	増分（新規崩壊）	109,000m ²
		（拡大崩壊）	62,000m ²

その他に「拡大崩壊」が184箇所確認されたが、これらは既往の崩壊地で発生しているため未計上。

融雪期における土砂災害への警戒の一環として、専門家や職員によるヘリコプターからの土砂流出状況の調査を実施しましたが、その結果からは直接下流に被害を及ぼすような新たな土砂移動現象は確認されていません。しかし、崩壊土砂が増加していることから、依然として早急に対策を実施する必要があります。適切に対策を実施して参ります。

問合せ先

北陸地方整備局湯沢砂防事務所 流域対策課 山本 悟
調査課 杉本 宏之
025-784-2263（代表）
新潟県土木部砂防課 企画調査係 高橋 幸彦
025-280-5424